



## サンディエゴ国際協議会 報告

RI第2660地区  
ガバナーエレクト

### 松本 進也

(大阪北RC)



日時：2016年1月17日-23日

会場：マンチェスター

グランドハイアット サンディエゴホテル

去る1月17日、家内と共に伊丹空港を出発、成田で全国のGEご夫妻と集合し、一路、サンディエゴと向かいました。現地では岡部研修リーダーはじめ、第一ゾーンの足立リーダー、第2ゾーンの櫻井リーダーにお会いしました。

岡部研修リーダーは当地区からは戸田PG以来の研修リーダーとのこと、また、杉谷RI理事はご欠席でしたが齊藤RI理事エレクトもおられました。

到着日夕刻の晚餐会・開会本会議では、全世界537地区、約200ヶ国、日本からは34地区のガバナーとその配偶者が一堂に会し、ジョン・F・ジャームRI会長エレクトの開会宣言と歓迎の辞を持って、1週間に亘る国際協議会の幕が上がりました。

本会議場であるメインホールに掲げられた看板は3年前から変わり、以前は“Enter to learn, Go forth to serve”「入って学び、出でて奉仕せよ」でありましたが、現在は“JOIN LEADERS, EXCHANGE IDEAS, TAKE ACTION”でありました。より自発的そして、活発なロータリー活動が求められていると感じた次第であります。

第2日目の第2回本会議では、2016-17年度RI会長テーマである「“Rotary Serving Humanity”-人類に奉仕するロータリー-」が発表されました。

我々ロータリアンにとって、また人類にとって最大の目的は、人類に奉仕することである。我々はよいことを毎日1つずつ行う。毎日が世界の人々の人生を変える機会であります。世界中のその期待に応えること。それがロータリーに我々がいる理由であり、ロータリー奉仕なのであります。「世界がより良きところ」となるべく、役割を果たすことが肝要であるとのことでありました。

このRIテーマを聞いた瞬間、当方が既に策定し、

昨年9月16日のAGE会議以降、関係各位の皆様にご書面にてお渡ししていた基本方針“The Ideal of Service”に共通するserviceの一語を眼にし、感無量でありました。

全体としては、9回の本会議と分科会・ワークショップ等多彩なプログラムが組まれておりました。また、全日程の所感は、予想通りでしたが、2016-17年度はロータリー財団100周年の記念すべき年であり、財団にかなり比重がありました。また、会員増強は単なる増強ではなく、善き活動を多く実現させ、将来にリーダーとなれるロータリアンを増やすことが重要であるとのこと。また、ポリオ撲滅についても強い言及がありました。事前課題として課せられた「ロータリーモーメント」(心に残るロータリーの体験)を語る分科会も非常に面白い試みで、興味深く拝聴しました。

当方はこの次年度RI会長テーマを受け、第2660地区2016-17年度ガバナー方針を“The Ideal of service”-ロータリーの根幹精神-と決めました。当該方針はロータリーの目的(以前は綱領と呼称)の第三項にも記載されており、次年度RI会長も「人類への奉仕」は、ロータリーの礎であり、主な存在理由であると明言されています。

策定いたしました地区ガバナー方針及び5つの具体的目標につきましては2月3日開催の帰国報告会、2月5日開催の第4回諮問委員会にて、ご説明いたしました。また、来たる3月12日の地区チーム研修セミナー・PETS、4月9日の地区研修・協議会などにて皆様にご説明の機会を設けさせていただきます。何卒お願い申し上げます。

(参考) 第2660地区 2016-17年度 具体的目標

1. “The Ideal of Service”の基本理念の周知と実践
2. ガバナー月信のペーパーレス化によるITの促進
3. ロータリー財団100周年、ポリオ撲滅
4. 戦略計画の推進(会員増強)
5. IM再編成

